

令和元年7月号



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子  
児童数 男子499名 女子459名 計958名

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子

# 十二月田小だより

川口市立十二月田小学校

川口市朝日1-11-1

TEL (048)222-4383

FAX (048)222-9388

## 大好きだよ しわすだっ子

～ ありのままの自分を愛する ～

校長 石井 宏明

プール開きも終え、本校のプールからも毎日子供たちの歓声や悲鳴が聞こえてきております。各ご家庭や地域の皆様におかれましては、過日の第1回学校公開のご参観、誠にありがとうございました。皆様に見守られているだけで、しわすだっ子も安心でき、いつも以上に張り切って学習に取り組めておりました。ご都合をつけてご来校いただき感謝、御礼申し上げます。

さて、本校児童に身に付けたい力(心情)の一つに「自信」があります。

ある心理学者は、「自信」は、「1. 行動を起こす」「2. 結果を確認する」「3. 自己肯定感をもつ」という3つのサイクルによってはぐくまれると言っています。

自信をもつ(高める)には、成功体験を積み重ねることが大切であり、学校や家庭・地域が、その体験を意図的にしくみ、叱咤激励し、はぐくんでいくことが大切であることは、改めて申し上げるまでもありません。

ですが、子供たちにとってみれば、「そんなこと言われても、苦手なことはやりたくないし、今まで、よい結果もでなかった。かといって、新しいことは不安だし…」というのが本音かもしれません。

そのような時(人)は、「自分を信じる」ことから始めればよいのです。

「大丈夫！！うまくいく！」「できるはずだ」と、自分の力、考えを信じる。

自信とは、『自分を信じる力』であり、プラスの思い込みであると考えております。そして、「ああしたい、こうなりたい」という思い、願いを、ほんの少しでもいいから、もってほしいのです。

また、自信をつけるために大切なことは、「頭」ではなく「体」で覚えることです。

頭で覚えたことは忘れやすく、考えてから動くまでに時間がかかるという特徴があります。

それに対して「体」で覚えたことは、とっさのときに無意識に動いてしまい、なおかつ動きが速いという特徴があります。

ですから、私たち学校とご家庭、地域の皆様が協働し、子供たち一人一人が「私(ぼく)は、昨年まで、こんなに多くの経験をして頑張ってきたんだ。ここまではできるようになったんだ」という、「ありのままの自分」のことを「愛」をもって認められるようにしくんであげることが必要になってまいります。

苦しい思いをしたり失敗をしたりといったネガティブな経験もすべて含めて、自分のことを認め、「愛」で包んでいるからこそ、生まれるのが「自信」なのだと考えます。

それは、「私はこのままで価値ある人間なのだ」というポジティブで愛に満ちた思いから生まれるものなのだと考えます。

今学期も残り13日。子供たち一人一人が「自分は、失敗を乗り越えて何でもできる」と信じていることができるよう、最後の最後まで取り組んでまいります。

私たちは、頑張るしわすだっ子も、失敗してしまって落ち込むしわすだっ子も、みんなみんな丸ごと大好きなのです。